

6年生『全国並びに丹波篠山市学力状況調査』の結果について

4月18日に実施しました「全国並びに丹波篠山市学力状況調査」の結果を報告します。6年生は、全国学力調査の国語・算数において、全国平均とほぼ同等の結果となりました。また、丹波篠山市学力調査の理科においては目標値を大きく上回り、良好な結果でした。学力の定着状況をご理解いただき、今後も子どもたちの学習習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援をよろしく申し上げます。

〈6年国語〉

問題内容(問題数)		正答率(%)	6年	
			全国平均	本校
国語	○成果	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	68	△81
	●課題	文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	47	▼27
	●課題	同音異義語の漢字「 <u>関心</u> をもつ」を書く	35	▼13

○成果・・・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる

「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる問題」の正答率が81%（全国平均68%）でした。「岸さんが豊職人の大谷さんの仕事に対する思いを尋ねるインタビューの様子の記事（文章）を読んで、岸さんが大谷さんの仕事ぶりで特に心に残ったことを大谷さんに伝える文」を書く問題です。①大谷さんの発言を引用する。②インタビューにふさわしい言葉遣いで書く。③30～60字にまとめる。以上の3つの条件を満たして書きます。このように目的や意図に応じ、まとめて書く力が身についています。これは、国語科等の授業でキーワード（今日の授業で学んだ学習用語等）を使ったり、いくつかの条件に合わせたりして自分の考えを書く活動を取り入れてきた成果です。

●課題・・・文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く

「文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」の正答率が27%（全国平均47%）でした。今後は、文と文のつながりに着目して内容を読み取ることが大切にしたり、「そこで」や「しかし」等の接続語を使って一文を二文に分けて文を書く活動を取り入れたりしていきます。

●課題・・・同音異義語の漢字「関心をもつ」を書く

同音異義語の漢字「関心をもつ」の正答率が13%（全国平均35%）でした。誤答の「感心」を書いている児童が59%いました。漢字の意味や正しい使い方が理解できていません。今後は、漢字のもつ意味の違いや、使い方をより丁寧に指導していきます。

しかし、もう一問の同音異義語の漢字「調査の対象」の正答率は68%（全国平均41%）でした。誤答の「対称」を書いた児童も少なく、大変良好な結果でした。これは、学年末にプリントを使って繰り返し漢字練習に取り組んだ成果です。

課題があった問題

接続語を使って一文を二文にする問題の正答率は27%でした。無解答の児童も18%いました。一文を二文に分けるために、一文の「～大切だと思ったので」の文末表現を「～思いました。」に変換することができていません。

【正解】

「思いました、(。そこで、)わたしは、」
「と思います(。そこで、)わたしは、」

【正答率】

岡野小 ▼27%
全国平均 47%

ウ

イ (らず)

今回の調査を通じて知ったことを、学級の友達にイかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

(ウ)の問題で正解できた児童は13%。誤答で「感心」と解答した児童は59%。漢字が書けても、文の意味にふさわしい漢字を選択することができていません。

【正解】 「関心」

【正答率】 岡野小 ▼13%
全国平均 35%

語彙を豊かにすることを含め、国語力の向上には、学校の授業以外の時間に、本や新聞などを読み、多くの言葉や文字に触れることが大切だと考えています。

。
そこで、

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましよう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

〈6年算数〉

問題内容(問題数)		正答率(%)	6年	
			全国平均	本校
算数	○成果	小数でわる(わり算)の式の意味の理解	48	△63
	●課題	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式する	68	▼45

○成果・・・小数でわる(わり算)の式の意味の理解

【問題】「0.6mが80円のリボン1m分の代金」を求める式は「 $180 \div 0.6$ 」です。この式のわられる数とわる数を10倍して計算すると $1800 \div 6 = 300$ になります。では、『この $1800 \div 6$ はリボン何m分の代金を求めている式ですか。』 【答え】1m分の代金
 この問題の正答率が63%(全国平均48%)でした。これは、「1あたり量」の学習の際に、図を描いたり、小数を簡単な整数に置き換えて計算したりするなど、様々な方法を使って理解を深めたことや、学年末の復習で「1あたり量」の問題に徹底的に取り組んだ成果です。

●課題・・・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式する

下記の問題(2)の正答率が45%(全国平均68%)でした。問題文を読んで問われていることを理解し、答えを求めるために必要な数字を問題文の中から選択することができていません。今後も図を活用する力や根拠や理由を説明する力の向上を目指し地道な指導を続けていきます。

課題があった問題

ゴンドラ1台が来るのにかかる秒数は20秒、あかりさんたちは先頭から10組後ろにいるという状況を読み取ることができると、 20×10 と立式することができます。この問題の式に36台という数字は必要ありません。

しかし、ゴンドラの36台という数量も入れて立式している児童が40%いました。

教科書は全ての数字を使う問題が多いので、それに慣れてしまっ、必要な数字を選択することができていないところもあります。

【正解】 **20×10**

岡野小 ▼45%
 全国平均 68%

(2) 次に、はるとさんたちは、観覧車に乗るために列に並んでいます。
 観覧車のゴンドラは36台で、ゴンドラ1台に1組ずつ乗ります。
 ゴンドラは1台来るのに20秒かかります。
 今の先頭はあかりさんたちです。はるとさんは、あかりさんたちの10組後ろにいます。
 あかりさんたちがゴンドラに乗ってから、はるとさんが何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを考えます。
 はるとさんがゴンドラに乗ることができるのは何秒後かを求める式を書きましょう。
 ただし、計算の答えを書く必要はありません。

